



春姫様

名古屋の豪華な結婚式
ルーツになったお姫様

春姫（はるひめ）様は、一六一五年（元和元年四月十二日）、尾張藩初代藩主徳川義直公（徳川家康公九男）の正室として名古屋に輿入れしました。女騎馬武者四十三人、長持三〇〇棹、御駕籠五十挺。長さ一〇数町にも及んだと伝えられる華麗な花嫁行列は、混乱の戦国末期政治の安定と太平の兆しとして、尾張の町衆に歓呼の声で迎えられましたと言われています。この輿入れは名古屋の豪華な結婚式のルーツとなったとも言われていますが、名古屋城本丸御殿再建を目指す市民団体が、「春姫道中」というイベントを行い、

毎年四月、豪華な花嫁行列を再現しています。春姫様の父は紀州藩初代藩主・浅野幸長、母は正室であり織田家家臣・池田恒興の娘。一六〇三年（慶長八年）和歌山城で誕生。幼い頃から古典の和歌、書に深く通じ才媛ぶりは有名だったと言われます。一六〇九年（慶長十四年）に徳川義直と縁談し一六一五年（元和元年）に結婚。義直公に嫁いだのは十三歳の時でした。一六三三年（寛永十年）に江戸に移るまで、名古屋城の本丸御殿に居住しました。



よる不安、また義直公との間に子供が生まれなことの苦しみから、次第に心の平穏を求め涅槃像（お釈迦様の入滅する様子を仏像としてあらわしたもの）を拝みたいと望むようになりまし。そして藩内のお寺をくまなく調べさせましたが涅槃像はなかなか見つからなかったと言います。それを聞いた当時の当山住職（八世／明谷師）が寺に伝わる涅槃像を送



名古屋城文化フォーラム主催「春姫道中」第二十一代春姫のお披露目・認定式は、四月八日午後一時、本年も当山にて行われる予定です。

つたところ、春姫様はその不安や苦しみから解放されたと言われ、この事から当山に帰依し檀家になったと伝わります。

最期は一六三七年（寛永十四年四月二十二日）で現在の東京で病死。ご遺体は菩提寺である当山に迎えられ火葬が営まれました。戒名は高原院大岳宗椿大禅尼。遺骨は当時、寺の西北に靈廟が建てられ納められましたが、大正時代に建中寺に移設。名古屋東照宮には戦後に移されました。

安産 良縁成就
恋愛成就
御深井観音

現在本堂の北側に鎮座されている御深井（おふけ）観音は春姫様の守護菩薩。恋愛成就、良縁成就、安産祈願に訪れる現代女性を見守り、良い縁へと導いて下さいます。元は名古屋

【お知らせ】
諸堂の見納め



皆様にご愛顧頂いております現在の萬松寺ですが、戦後建立の木像部分を立て替えることに致しました。本年五月頃から工事に着手する予定で、一年半程の工事期間をいただき、新たな諸堂をご利用いただける計画を進めております。不動堂、稲荷堂、信秀公墓碑のある奥の院が建てかえ工事の対象です。現在の姿でお参りいただける期間は残りわずかとなっております。ご参拝いただき、名残りを惜しんでいただければ幸いです。工事期間中はご不便をお掛けする事になりますが、ご理解の程、宜しくお願い致します。

屋城の北御深井（おふけ）に祀られていましたが、春姫様の菩提所である萬松寺に移されてきました。現在ある石像は昭和六十一年に再現されたものです。

万松寺駐車場&万松寺パーキングがさらに便利に!

駐車場精算機でクレジットカードが使用できます!

カードを入れるだけサイン不要の簡単精算

楽Edy タッチするだけで簡単精算! 電子マネー「楽Edy」も使えます!

24時間 年中無休
★24時間最大（平日：1,100円 土日祝：1,500円）
●昼間（8:00～20:00）100円/15分
●夜間（20:00～8:00）50円/30分
【お問合せ】 052-251-4543
■旧券の交換は管理事務所（万松寺ビル北館1階）または万松寺境内の受処へ。（9時～18時）

ご祈禱・供養は
萬松寺

◆毎月28日はお不動さんの縁日

午後六時～、境内にて織田信長公ゆかりの由緒を伝える「身代り餅つき」が行われ、参拝客の方々に振舞われます。

からくり人形『信長』は午前10時～2時間おきに毎日5回上演しております。雨天強風の際は上演されません。

- ◆十一面観世音菩薩：先祖供養、水子供養
- ◆身代り不動明王：厄除け、無病息災、身体健全 病氣平癒、災難消除
- ◆白雪稲荷：商売繁盛、家内安全

各種ご祈禱を受け付けております。
ご祈禱の受付は午前10時～4時半まで。

亀嶽林萬松寺

お問合せ TEL 052-262-0735

なるほど仏教

釈尊降誕会 四月八日

お釈迦様の誕生と花まつり

かけがえのない命の尊さを誓う

四月八日は、お釈迦様の誕生日をお祝いする「花まつり」の日です。お釈迦様は、今からおおよそ2500年前、現在のインド国境に近いネパールの地、ルンビニの花園でお生まれになりました。お釈迦様の誕生日のお祝いを「花まつり」というのはこのためです。



うてんげゆいがどくそん」と宣言されたといわれています。この言葉は「人は誰もが、かけがえのない命を生きている」という、仏教のもつ人間尊重の精神を端的にあらわしています。またこの時に、お釈迦様の誕生を祝った童王が甘露の雨を降らせたとも伝えられています。

**人は誰もが
かけがえのない命を
生きている**

「花まつり」は、曹洞宗寺院だけでなく、多くの仏教寺院や仏教系の幼稚園、学校などで、広く行われています。ルンビニ園の誕生の様子を表した「花御堂（はなごどう）」は、曹洞宗寺院だけでなく、多くの仏教寺院や仏教系の幼稚園、学校などで、広く行われています。

伝説では、お生まれになつてすぐに七歩進み、右手で天を、左手で地を指差し「天上天下唯我独尊（てんじよ

院だけでなく、多くの仏教寺院や仏教系の幼稚園、学校などで、広く行われています。ルンビニ園の誕生の様子を表した「花御堂（は

誰にもかわることの出来ない、かけがえのない「いのち」を生きている事に気づくことでしょう。人類が誕生して以来、数え切れないほどの人びとが生き、また現在、数十億の人びとが共に存在

しているなかで、誰一人として「わたし」と同じように生き、悩み、考え、行動する人はいないのです。四月八日は、お釈迦様の誕生をお祝いすると同時に、それぞれの「かけがえのない命の尊さ」に眼を向け正しく生きることをお誓いする日にしたいものです。



AED設置しました。

【設置場所二か所】

本堂受付／万松寺駐車場北館管理室

突然心臓が止まって倒れた場合、10分間何もしないと、助かる確率が、ほぼなくなります。あなたは、このことを知っていますか。命を救う為には「心停止の予防」「119番通報」「応急手当」「医療処置」のいずれも迅速に途切れる事なく行われる事が重要です。特に人が倒れた時にはまず「大丈夫ですか？」と声をかけ手をさしのべることから救命が始まります。

AEDで助かる命

最近、駅やコンビニ、劇場など街のいたる所で、AED（エー・イー・ディ）と書かれた器械を見かけることはありませんか。このAEDは、突然の心停止を起こして倒れた人を、そこにいる人たちがその場で使って倒れた人の命を救うことができる医療機器です。

大須商店街には毎日たくさんの方が訪れます。当山でも緊急時の応急手当が迅速に出来るよう、2台のAED設置、また全職員が救命講習を受けました。



AEDの設置とともに、消防署から心肺蘇生法など救命入門講習を受けました。